

北海道新聞



デジタル原稿制作の手引き

ver 4.0 < 2021 年 4 月 1 日 全面改訂 >

◆更新履歴◆

- 2018年2月1日 3.1版……一部改訂
- 2018年8月1日 3.2版……一部改訂
- 2021年4月1日 4.0版……全面改訂

は じ め に

新聞印刷と商業印刷では、異なるルールや特性があります。制作データをトラブルなく掲載するためには、新聞印刷のルールや特性を理解していただく必要があります。

北海道新聞社営業局では、入稿された広告原稿をトラブルなく掲載できるよう、一般社団法人日本広告業協会発行の“新聞広告デジタル制作ガイド N-PDF ver.1.2 (2019)”に準拠した手引きを作成しました。

北海道新聞に掲載する広告原稿制作の際には、この“MINDS* デジタル原稿制作の手引き”をご活用いただきますようお願い申し上げます。

* MINDS … 北海道新聞社広告原稿管理システム

※本ガイドは、PDF形式でのデータ入稿をベースとした手引きとなっています。

※本ガイドは、初期設定での操作を前提としたAdobe Creative Cloud製品及びAdobe Acrobat Pro DCをベースとしています。

※ブラウザ内蔵のプラグインでは正常に表示・印刷ができない場合があります。ファイルダウンロード後、Adobe Acrobat、Adobe Acrobat Readerで表示・印刷してください。

目次

▼ 基本的な表示事項

こんなところに注意	4
制作アプリケーション	5
データフォーマット	5
データサイズ	5
フォント	5
文字サイズ／線幅	5
透明	5
効果	5
原稿サイズ	6
トリムマーク(トンボ)	8
スクリーン線数	8
ハーフトーンスクリーン	8
カラー(Illustrator)	8
単色	8
オーバープリント	8
総インキ量(TAC値)	8
画像	9

▼ 制作上の注意事項

出力トラブルの回避	10
オーバープリント	12
レジストレーションカラー	13
サイズ	14
モノクロ原稿	15
透明の設定	16
効果の設定	17
画像処理	18
データフォーマット	20
プリフライトチェック	23

▼ 送稿

オンライン送稿	28
在版	28
ウイルスチェック	28

▼ チェックシート

チェックシート	29
---------------	----

基本的な表示事項

こんなところに注意

アートボードは原稿サイズに合わせる [P14]

アートボードは複数配置しない [P14]

配置画像は規定のサイズ内にマスク処理をする [P19]

囲み罫は罫の外側が規定サイズに収まるようにする [P14]

罫は「線を内側に揃える」で作成してください



線を内側に揃える

線を中央に揃える

囲み罫を規定サイズで作成しても、線を中央に揃える設定ではセンターから外側の部分(線幅分)が、作成サイズより大きくなってしまいます。



トリムマークは削除する [P10]

孤立点は削除する [P10]

ガイドは削除する [P10]

フォントデータは全てアウトライン化する [P5]

白のオブジェクトで隠さない [P10]

注釈は削除する [P10]

制作アプリケーション

Illustrator

Photoshop CS6～(Mac OS X 10.6.x～)

InDesign

- ※ InDesign で制作されたモノクロデータには対応していません。
- ※ Illustrator または InDesign 以外のアプリケーションでは作成しないでください。

データフォーマット

原稿データはN-PDFのみでの対応になります。

[データフォーマット \(P20\)](#)

データサイズ

400MB以内で作成してください。

フォント

原稿内のフォントは全てアウトライン化してください。
また、フォントデータを含む孤立点は必ず削除してください。

文字サイズ／線幅

印刷時における最小サイズは下記の通りです。

文 字	明朝系:8pt	ゴシック系:6pt
罫 線	カラー:0.5pt	モノクロ:0.3pt

※平網に白ヌキで使用する場合等、設定によっては最小サイズ以上でも判読しにくくなる場合がありますのでご注意ください。

原寸*	明 朝 系
北海道新聞	
ほっかいどうしんぶん	
ホッカイドウシンブン	8pt

原寸*	ゴシック系
北海道新聞	
ほっかいどうしんぶん	
ホッカイドウシンブン	6pt

* 100%で表示・印刷した場合

透明

透明を使用する場合はプリセットを高解像度にしてください。[透明の設定 \(P16\)](#)

効果

効果を使用する場合は解像度を200～300ppi程度に設定してください。[効果の設定 \(P17\)](#)

原稿サイズ

・北海道新聞社

天 地		左 右	
段	mm	割	mm
1	32	全幅	382
2	66	1/2	190
3	101	1/3	126
4	135	1/4	94
5	170	1/5	75
6	204	1/6	62
7	239	1/7	53
8	273	1/8	47
9	307	1/9	41
10	342	1/10	37
11	377	1/12	30
12	411	1/14	26
13	445	1/16	22
14	480	二連版	789
15	514		

原稿サイズはカラー、モノクロ、単色ともに共通です。

・ N-SIZE

天 地		左 右	
段	mm	割	mm
1	32	全幅	378
2	66	1/2	188
3	100	1/3	126
4	134	1/4	94
5	168	1/5	75
6	203	1/6	62
7	237	1/7	54
8	271	1/8	46
9	305	1/10	38
10	339	1/12	32
11	374	二連版	784
12	408		
13	442		
14	477		
15	511		

※出版広告用 N-SIZE

※出版広告用 N-SIZE

※ N-SIZE で入稿の場合は、出力見本等に
N-SIZE 原稿である旨を記入してください。

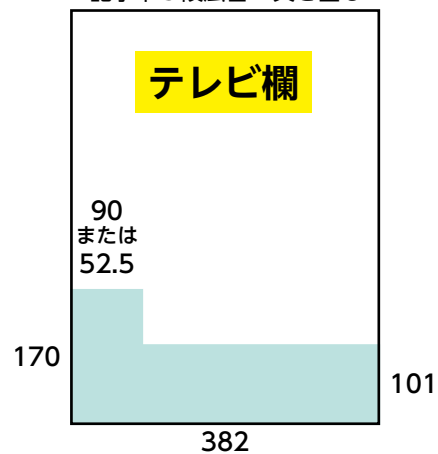


N-SIZEでの入稿も可能です。
N-SIZEで入稿された原稿データは、弊社規定サイズに合わせて偏倍処理するため縦横比が変わる場合がありますのでご注意ください。

- 変形広告 ※広告サイズの単位はmmです。

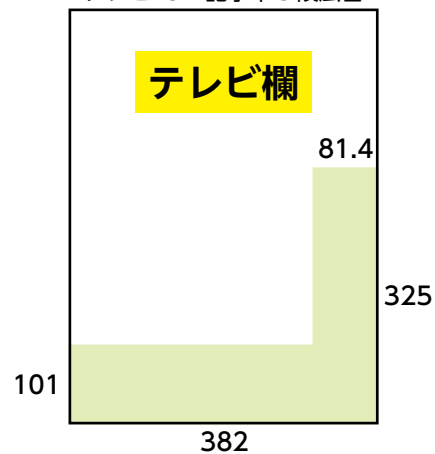
L字広告

記事下3段広告+突き出し



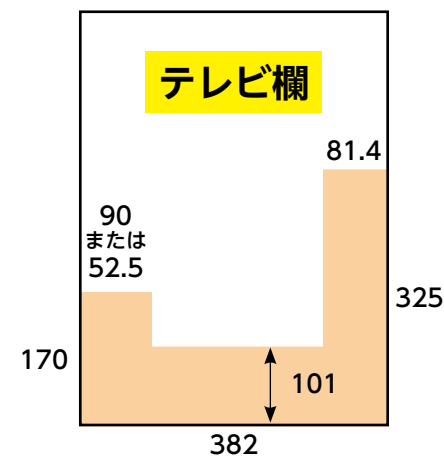
逆L字広告

テレビ75+記事下3段広告



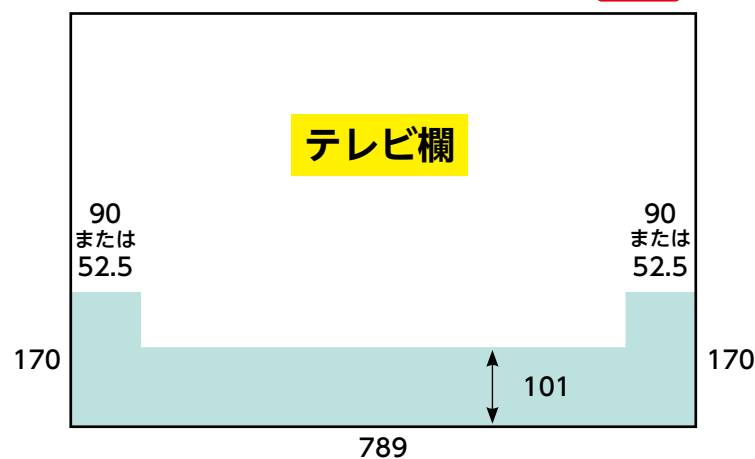
J字広告

テレビ75+記事下3段広告+突き出し

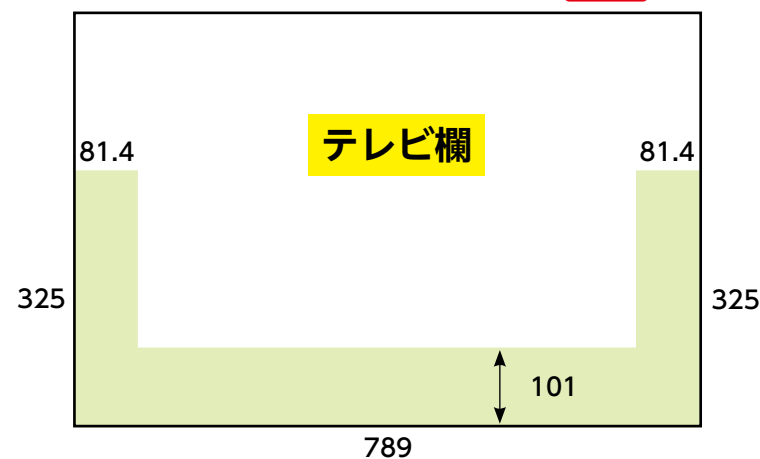


【テレビ面が見開きの場合のみ】 ※テレビ面広告は、それぞれを組み合わせ、変形広告としてご利用いただくこともできます。

テレビ面突き出し左右+記事下3段二連版広告 = 凹広告



テレビ75左右+記事下3段二連版広告 = 凹広告



トリムマーク(トンボ)

トリムマーク(トンボ)はエラーの原因となる可能性があるため、必ず削除してください。

[🔗出力トラブルの回避\(P10\)](#)

スクリーン線数

	スクリーン線数	スクリーン角度			
		C	M	Y	K
カ ラ ー	200 線	15°	45°	0°(90°)	75°
単 色		15°			
モノクロ	140 線				45°

ハーフトーンスクリーン

ハーフトーンスクリーンは反映しませんのでご注意ください。

カラー (Illustrator)

カラー原稿は、CMYK・グレースケール・モノクロ 2 階調のみ使用可能です。

モノクロ原稿は、グレースケール・モノクロ 2 階調のみ使用可能です。

単色

K 版(墨版)と他 1 版(シアン版、マゼンタ版、イエロー版のいずれか)で作成してください。

※掲載版や紙面状況によっては多色方式(CMYK)で原稿を制作していただく場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

オーバープリント

アプリケーションの設定がそのまま反映されます。

[🔗オーバープリント\(P12\)](#)

総インキ量(TAC値)

全てのオブジェクト、配置画像の総インキ量(TAC値)は250%以下にしてください。

[🔗レジストレーションカラー\(P13\)](#)

[🔗総インキ量\(TAC値\)の確認方法\(P26\)](#)

画像

• 解像度

多値画像(カラー、モノクロ):200~300ppi

二値画像(モノクロ2階調):1200ppi

※解像度が高すぎる画像データを使用した場合、原稿のデータサイズが大きくなり、出力トラブルの原因となる可能性があります。

• カラーモード (Photoshop)

カラー画像の場合は、CMYK・グレースケール・モノクロ2階調、モノクロ画像の場合は、グレースケール・モノクロ2階調にしてください。

「RGB」は、新聞印刷では受け付けていません。

※カラーモードを「RGB」から「CMYK」に変換する場合は、色調が変化することがあります。

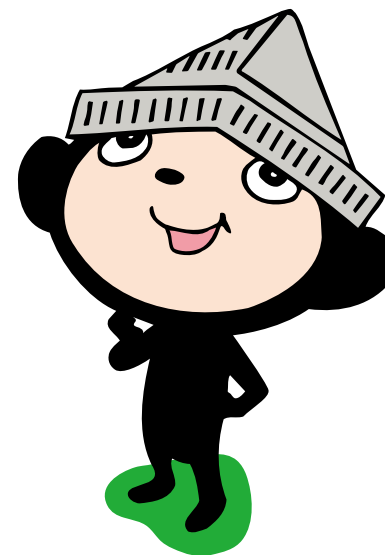
• 拡大縮小率

画像はできるだけ実寸で配置してください。やむを得ずIllustrator上で拡大縮小する場合は80~120%を目安に調整してください。

• 画像の埋め込み

配置画像は全て埋め込んでください。

 [画像の埋め込み \(P20\)](#)



制作上の注意事項

出力トラブルの回避

• 不要なオブジェクトの削除

原稿データに入っている不要なオブジェクトは削除してください。

- ・トリムマーク(マスク等で隠さないでください)
- ・フォントやパスの孤立点
- ・ガイド
- ・原稿外の注釈(掲載日、広告主名、サイズ等)
- ・原稿外の透明なオブジェクト
- ・隠しているオブジェクト(白のオブジェクトで隠しているもの、非表示のもの)

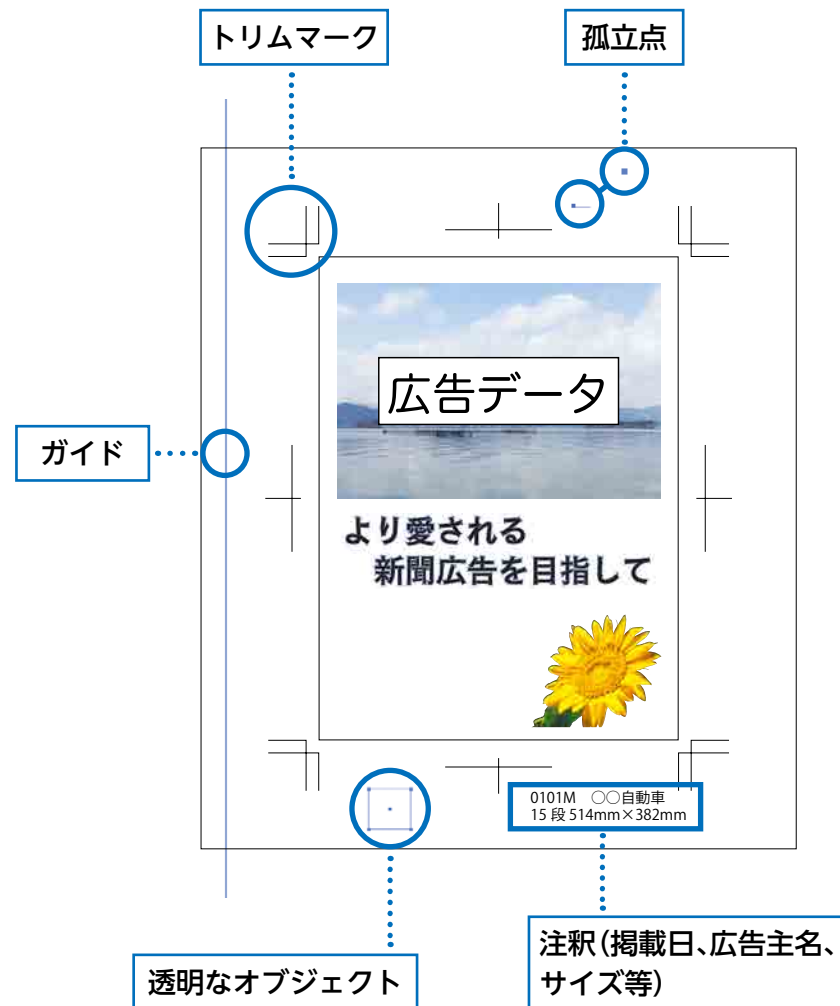
フォント孤立点の探し方

[選択]メニュー内の[オブジェクト]→[テキストオブジェクト]を選択して確認します。

または[ドキュメント情報]内の[フォント]欄を確認し[書式]メニュー内の[フォント検索]を選択して確認します。

パスの孤立点の探し方

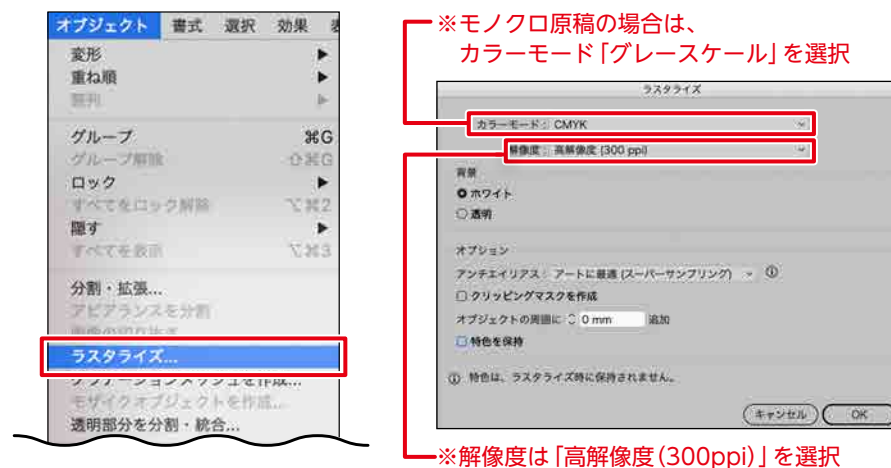
[選択]メニュー内の[オブジェクト]→[余分なポイント]を選択して確認します。



• 複雑なパスや効果の注意

複雑なパスや効果を多用すると、出力トラブルの原因となる可能性があるため、ラスタライズ処理してください。

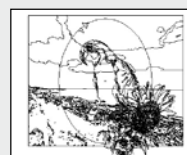
ラスタライズ処理をすることにより、出力結果が変化する場合があります。



メニューの[オブジェクト]
→[ラスタライズ]を選択

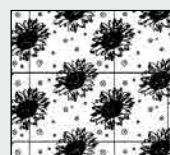
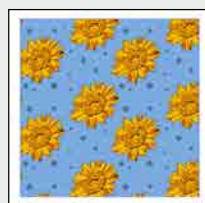
【ラスタライズが必要なオブジェクトの例】

例①パスが多く複雑なオブジェクト



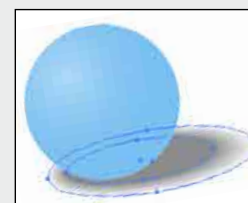
※アウトライン表示

例②複雑なパターンオブジェクト

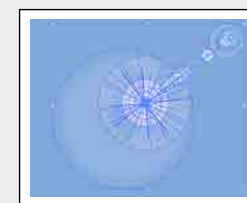


※分割・拡張してからアウトライン表示したもの

例③ブレンドを使用したオブジェクト



例④フレアを使用したオブジェクト

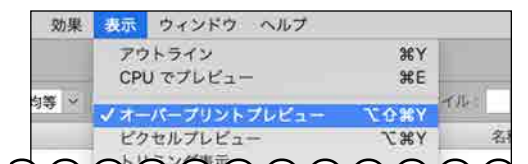


※ラスタライズ後は透明パレットの描画モードで見た目を調整してください

オーバープリント

カラーオブジェクトや白オブジェクト等にオーバープリントが設定されていると、画面上の表示と出力結果が異なる場合があります。

オーバープリントプレビューで出力結果を確認してください。



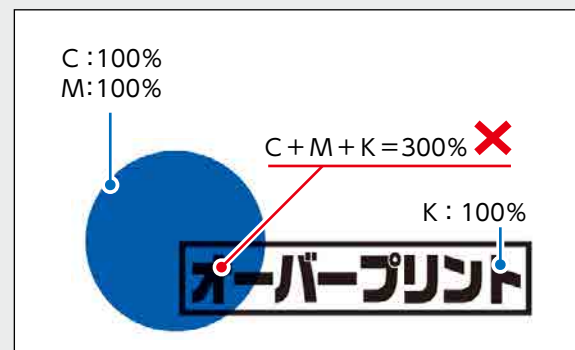
メニューから[表示]→[オーバープリント
プレビュー]を選択



オーバープリントの設定がされていても、通常のプレビューでは、画面上で出力結果を確認することができません。



「オーバープリントプレビュー」にすることで出力結果を確認することができます。

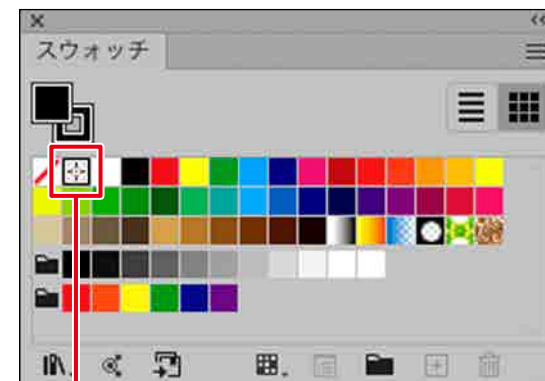


スミにオーバープリントの設定をする場合は、ノセ部分のTAC値が250%を超えないように注意してください。

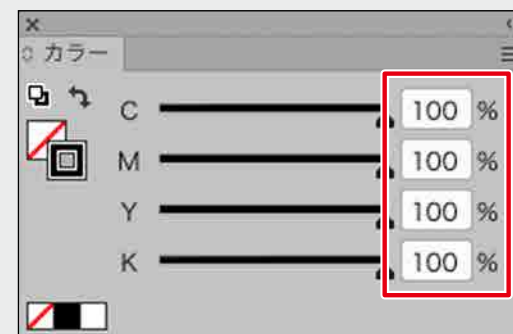
レジストレーションカラー

レジストレーションカラーを使用すると、総インキ量(TAC値)が400%となります。規定値(250%以下)を超えると、新聞の紙質では裏の紙面に写りこんだり、向かい合う紙面に汚れがつきやすくなる等、印刷の品質に影響が出る場合があります。

エラーの原因にもなるため、レジストレーションカラーは使用しないでください。



スウォッチ登録されているレジストレーションカラー



レジストレーションカラーをカラーパネルオプションからCMYKカラーに変換すると、4色の濃度が100%となっています。必ずK100%のみにするか、グレースケールに変換してください。

サイズ

・ 囲み罫

囲み罫を作成する場合は、線の位置を「線を内側に揃える」で設定し、囲み罫と原稿サイズが一致するように作成します。

アートボードより外側に出ている囲み罫は印刷されないため、罫が細くなりますのでご注意ください。



「線を内側に揃える」に設定し、規定サイズで作成



「線を中央に揃える」に設定し、規定サイズで作成



情報パレット上に示される外寸より
実際のデータは線幅分だけ大きくなっています。

・ アートボードサイズ

アートボードサイズがそのまま原稿サイズになるため、規定の原稿サイズで作成してください。

また、囲み罫やその他すべてのオブジェクトがアートボードから出ないように注意してください。アートボードから外側のオブジェクトは印刷されないので削除してください。



原稿サイズ＝アートボードサイズ



原稿サイズ<アートボードサイズ

・ 複数アートボード

複数のアートボードを設定した入稿データは、出力トラブルの原因になります。

保存前に不要なアートボードを削除し、1つのアートボードのみにしてください。

モノクロ原稿

・グレースケール変換

オブジェクトにかかっている全てのロックを解除してください。

オブジェクトを選択し、[編集]メニューの[カラーを編集]から[グレースケールに変換]を選択してください。

※レジストレーションカラーの場合は[カラーパレット]から[グレースケール]を選択してください。

！ 効果をグレースケール変換した時の注意点

ドロップシャドウ等の効果をアピアランス分割して、グレースケール変換をした場合、効果の濃度が変化することがありますのでご確認ください。

あ → あ

グレースケール変換前

グレースケール変換後

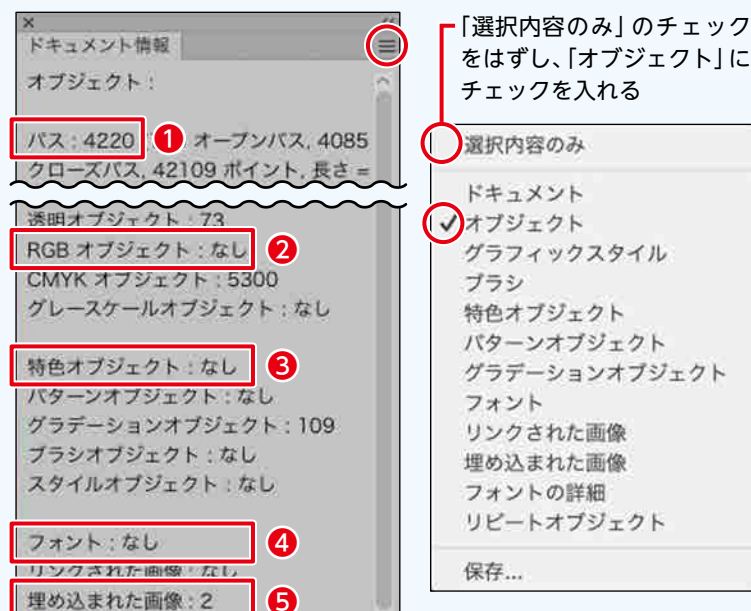


tips

ドキュメント情報の活用

Illustratorのドキュメント情報パネルでは、エラーの原因となる様々な情報を確認することができます。

原稿データ作成後はドキュメント情報パネルをチェックし、入稿トラブルをなくしましょう。



- ①パス: ドキュメント内のパスの数
- ②RGB オブジェクト: RGBカラーが含まれているオブジェクトの数
- ③特色オブジェクト: 特色カラーが含まれているオブジェクトの数(レジストレーションカラーは反応しません)
- ④フォント: アウトライン化されていないフォントの数
- ⑤埋め込まれた画像: 埋め込み画像の数

透明の設定

• 書き出しとクリップボードにおける分割・統合の設定

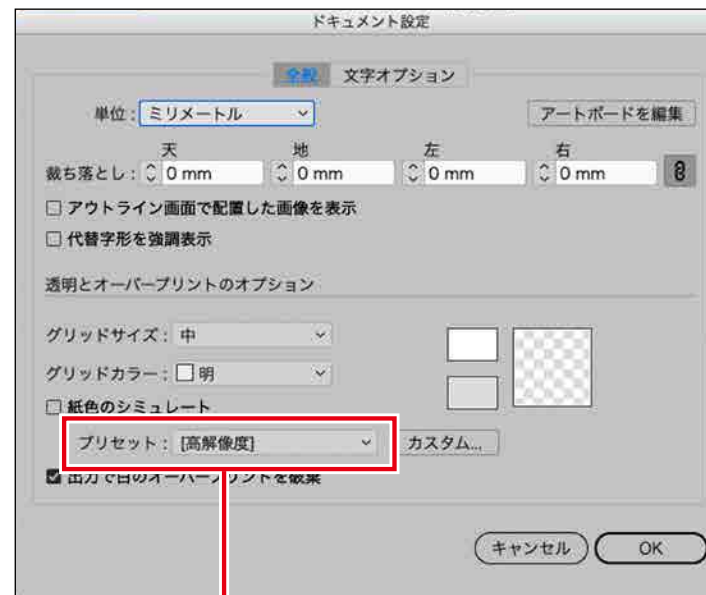
透明効果を使用したオブジェクトの分割・統合時に[ドキュメント設定の透明プリセット]を低く設定するとオブジェクトが粗くなる場合があります。

[ファイル]メニューから[ドキュメント設定]を選択し、[透明]の[プリセット]を[高解像度]に設定してください。



新規でファイルを作成する時、設定がデフォルトに戻ってしまいます。作業前にこの設定にすることをおすすめします。

■ドキュメント設定



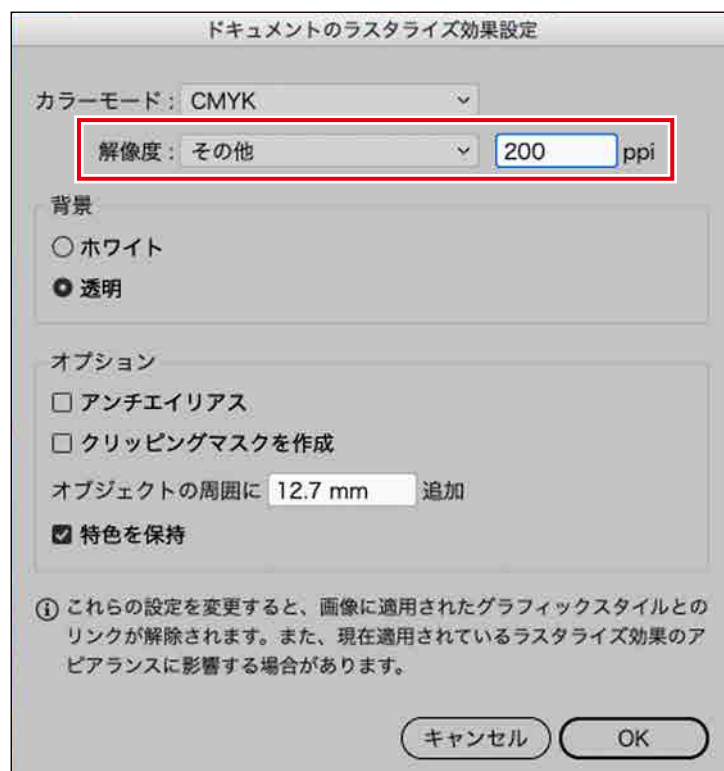
プリセットを[高解像度]にします

効果の設定

• ドキュメントのラスタライズ効果設定

[ドキュメントのラスタライズ効果設定の解像度]を低く設定すると、低解像度のまま出力されます。

[効果]メニューから[ドキュメントのラスタライズ効果設定]を選択し、解像度を200～300ppiに設定してください。



解像度を72ppiで設定し
[スタイルズ]の[ぼかし]を適用



解像度を200ppiで設定し
[スタイルズ]の[ぼかし]を適用



解像度を変更することでIllustratorがアピアランスの再設定に失敗する場合がありますので、作業前にこの設定にすることをおすすめします。

画像処理

・保存オプション

Photoshop EPS 保存の場合

保存の際に表示される [EPS オプション] では図のように設定してください。



- 1.[プレビュー]を[TIFF(8bit/pixel)]に設定します。[①]
- 2.[エンコーディング]を[ASCII85]に設定します。[②]
- 3.チェックは全て外します。[③]

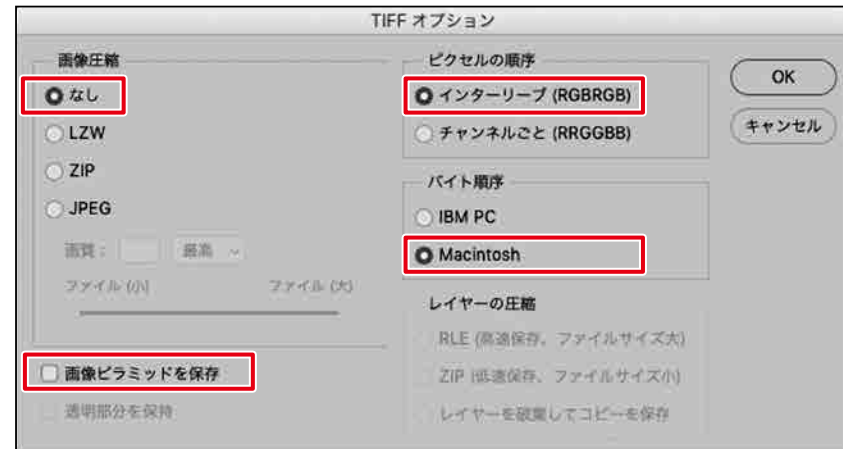
PSD 保存の場合

図のように設定してください。



TIFF 保存の場合

保存の際に表示される [TIFF オプション] では図のように設定してください。



• 画像のトリミング

適切なトリミングを行わないとデータサイズが大きくなる場合があります。

Illustratorでクリッピングマスクの処理を行っても画像のデータサイズは変わりません。

Photoshopでクリッピングパスを使用している場合も同様です。

データサイズを適切にするため、使用する画像はPhotoshopでトリミングを行ってください。

Illustratorで
クリッピングマスクを設定



【例】データサイズ
両方とも24.3MB

Photoshopで
クリッピングパスを設定



Photoshopで
使用するサイズにトリミング

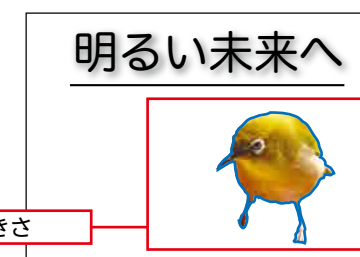


トリミングした画像を Illustrator
に配置 (クリッピングマスク)



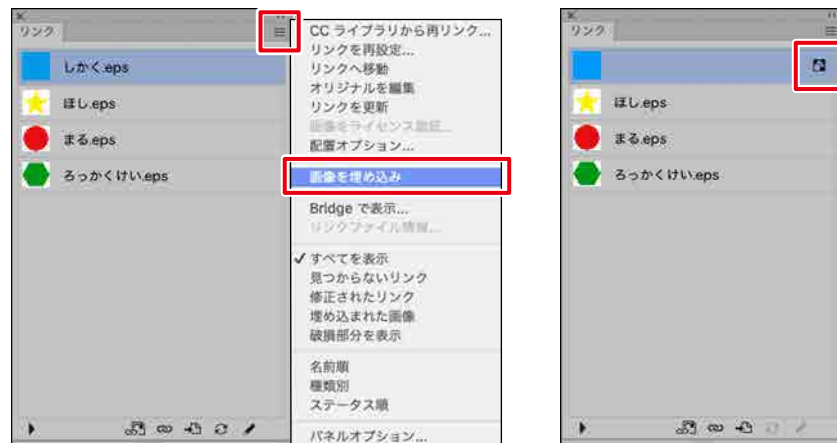
【例】データサイズ
↑ 5.3MB ↓ 5.4MB

トリミングした画像を Illustrator
に配置 (クリッピングパス)



• 画像の埋め込み

Illustratorに配置している画像は全て埋め込んでください。



対象となる配置画像を選択し、メニューより「画像を埋め込み」を選択してください。

埋め込み処理が完了すると、アイコンが表示されます。配置画像は全て埋め込んでください。



埋め込み処理を行うと、配置画像の位置がずれたり、大きさが変化する場合があります。

また、画像に適用した効果が消えてしまうこともありますのでご注意ください。

データフォーマット

原稿データはN-PDFの規格で作成してください。

設定ファイルがない場合は下記の手順でダウンロードしてください。

• 設定ファイルのダウンロード

日本広告業協会WEBサイト

(<https://www.jaaa.ne.jp/?p=6650>) から N-PDF 設定ファイル(N-PDF_ver1.1.zip)をダウンロードします。

もしくは日本広告業協会トップページ(<https://www.jaaa.ne.jp/>)から[新聞広告デジタル制作・送稿ガイド]ページにアクセスしてください



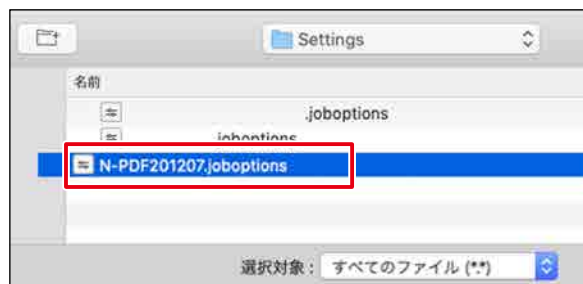
[委員会活動]プルダウン内の[新聞委員会]をクリック
[新聞広告デジタル制作・送稿ガイド]内の[もっと見る]からアクセスできます。
※2021年3月時点のものです。

• Adobe PDFプリセットの読み込み

ダウンロードしたN-PDF設定ファイル(N-PDF_ver1.1.zip)を解凍すると[PDFプリセット]と[プリフライトプロファイル2種]の2つのフォルダが生成されます。[PDFプリセット]フォルダ内にある設定ファイル(N-PDF201207.joboptions)をIllustratorまたはInDesignに読み込みます。 ※Illustrator・InDesignのどちらかで設定を行えば同一のプリセットを共通で使用できます。

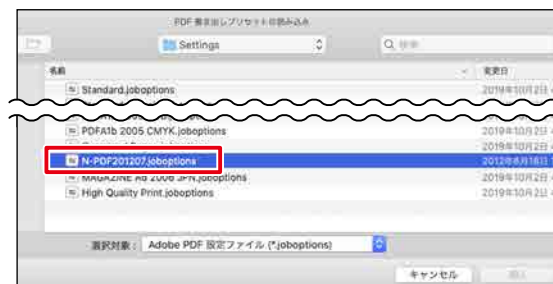
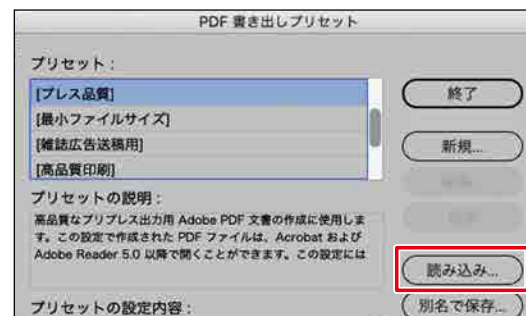
Illustrator

- 1.[編集]メニューから[Adobe PDF プリセット]を選択します。
- 2.[読み込み]ボタンをクリックし、ダウンロードした規定のPDF設定(N-PDF201207.joboptions)を読み込みます。



InDesign

- 1.[ファイル]メニューから[PDF書き出しプリセット] → [定義]を選択します。
- 2.[読み込み]ボタンをクリックし、ダウンロードした規定のPDF設定(N-PDF201207.joboptions)を読み込みます。

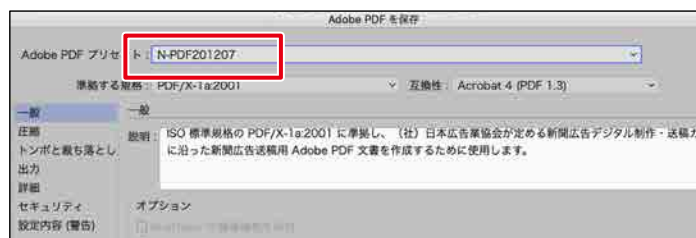


• PDFの作成

IllustratorやInDesignで作成した原稿データをPDFで書き出します。

Illustrator

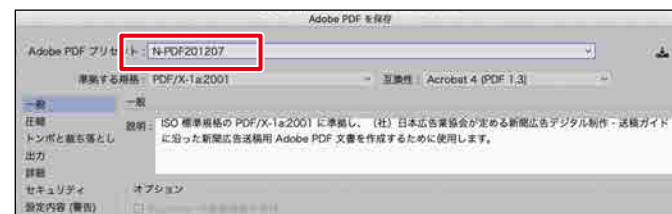
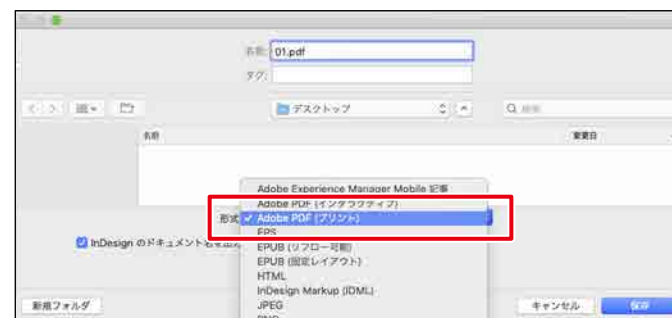
- 1.[ファイル]メニューから[複製を保存]を選択します。
- 2.[ファイル形式]で[Adobe PDF (pdf)]を選択し、ファイル名と保存場所を指定して[保存]をクリックします。
- 3.[Adobe PDFを保存]パネルで規定のPDF設定(N-PDF201207)を選択して[PDFを保存]をクリックします。



※[トンボと裁ち落とし]を選択し、[裁ち落とし]の部分が天地左右ともに0mmになっているか確認してください。

InDesign

- 1.[ファイル]メニューから[書き出し]を選択します。
- 2.[形式]で[Adobe PDF (プリント)]を選択し、ファイル名と保存場所を指定して[保存]をクリックします。
- 3.[Adobe PDFを書き出し]パネルで規定のPDF設定(N-PDF201207)を選択して[書き出し]をクリックします。



※[トンボと裁ち落とし]を選択し、[裁ち落とし]の部分が天地左右ともに0mmになっているか確認してください。

プリフライトチェック 要チェック

N-PDFで書き出したPDFデータは、入稿前にプリフライトチェックを行ってください。

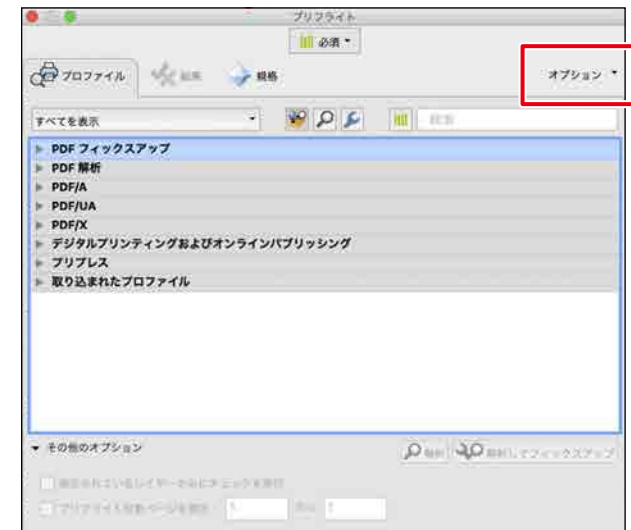
• プリフライトプロファイルの取り込み

事前にプリフライトプロファイルを設定してください。(データは日本広告業協会WEBサイトからダウンロードしたN-PDF設定ファイル(N-PDF_ver1.1.zip)を解凍して生成された[プリフライトプロファイル2種]フォルダ内にあります。

※ファイル名[N-PDF2012カラー単色.kfp]と[N-PDF2012モノクロ.kfp]の2種類)

Acrobat Pro

- 1.[編集]メニューから[プリフライト]を選択します。
- 2.[オプション]メニューから[プロファイルを取り込み]を選択し、[N-PDF2012カラー単色.kfp] または [N-PDF2012モノクロ.kfp] を読み込みます。

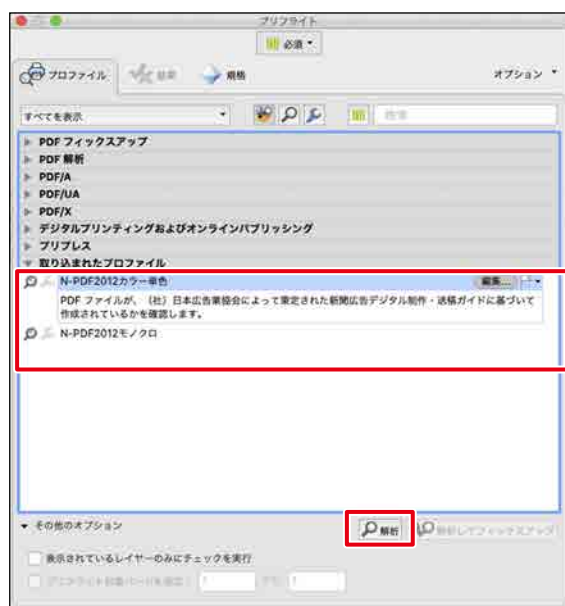


・プリフライトの実行方法および結果確認方法

[編集]メニューから[プリフライト]を選択し、[取り込まれたプロファイル]から[N-PDF2012カラー単色 または モノクロ]を選択して[解析]をクリックします。

結果表示では、PDF 仕上がりサイズが必ず表示されますので、不備があれば修正してください。

エラーが検出された場合は、不備の箇所を確認の上、修正してください。



[N-PDF2012カラー単色] または [N-PDF2012モノクロ] を選択して[解析]をクリックします。



プリフライトチェックでは総インキ量とK100%オブジェクトのオーバープリントの確認ができませんので、別途 Acrobat Pro の[表示]メニューの[ツール]から[印刷工程]をクリックし、印刷工程パネル内の[出力プレビュー]で確認してください。

・確認が必要な項目



PDFの仕上がりサイズは必ず表示されます。
表示されている情報項目を確認します。

・エラーが検出された場合



レイアウトデータに戻り不備の箇所を修正します。

・エラー例

以下はエラーの一例です。確認の上修正してください。

✖ PDF 文書が PDF/X-1a (2001) 準拠ではない  要チェック



入稿データを規定のPDF設定(N-PDF201207)で保存してください。

✖ レジストレーションを使用している



該当箇所をK100%のみにするか、グレースケールに変換してください。
トリムマークの場合は削除してください。

✖ フォントが埋め込まれている

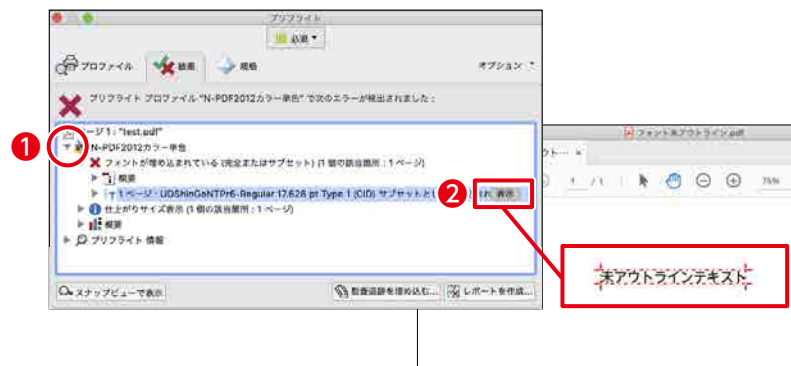


該当箇所のフォントをアウトライン化してください。
フォントデータを含む孤立点の場合は削除してください。

※フォントがアウトライン化されていないと規定のPDF設定(N-PDF201207)で保存できない場合があります。

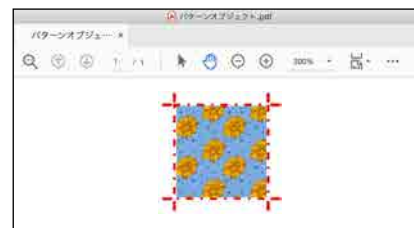
エラー箇所の確認方法

プリフライトパネル上で、エラーが検出された箇所を特定することができます。



1. 検出されたエラーの[プルダウン]を表示します。〔1〕
2. 特定したい項目を選択し、[表示]をクリック〔2〕すると、プレビュー上で該当箇所が選択された状態になります。

✖ 4C または特色以外のカラーを使用

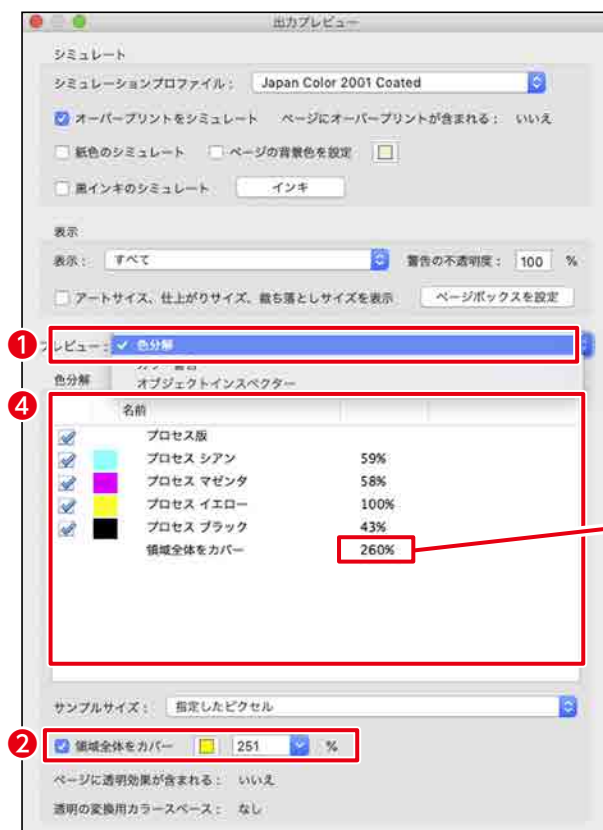


パターンオブジェクトが検出された際に、[4Cまたは特色以外のカラーを使用]のエラーが表示されます。該当のパターンオブジェクトを分割・拡張またはラスタライズ処理してください。

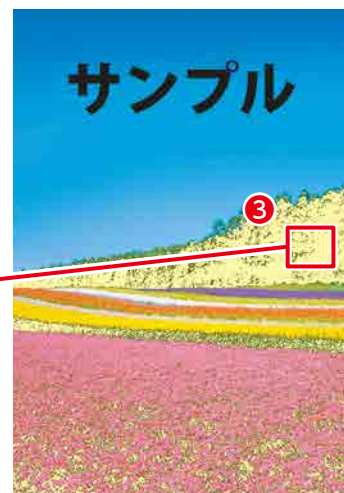
※画像から作成されたパターンオブジェクトは、複雑なエラーの原因になることがありますので必ず分割・拡張またはラスタライズ処理してください。

• 総インキ量(TAC値)の確認方法

1. ツールから[印刷工程]の[出力プレビュー]を選択します。
2. プレビューで[色分解]を選択します。〔1〕
3. [領域全体をカバー]にチェックをつけ、251%(当社の推奨値は250%以下)と入力します。〔2〕
4. 該当箇所が設定した色で表示されます。〔3〕
5. カーソル位置のインキ量を確認できます。〔4〕



チェックをつけた場合



サンプル

チェックをつけない場合

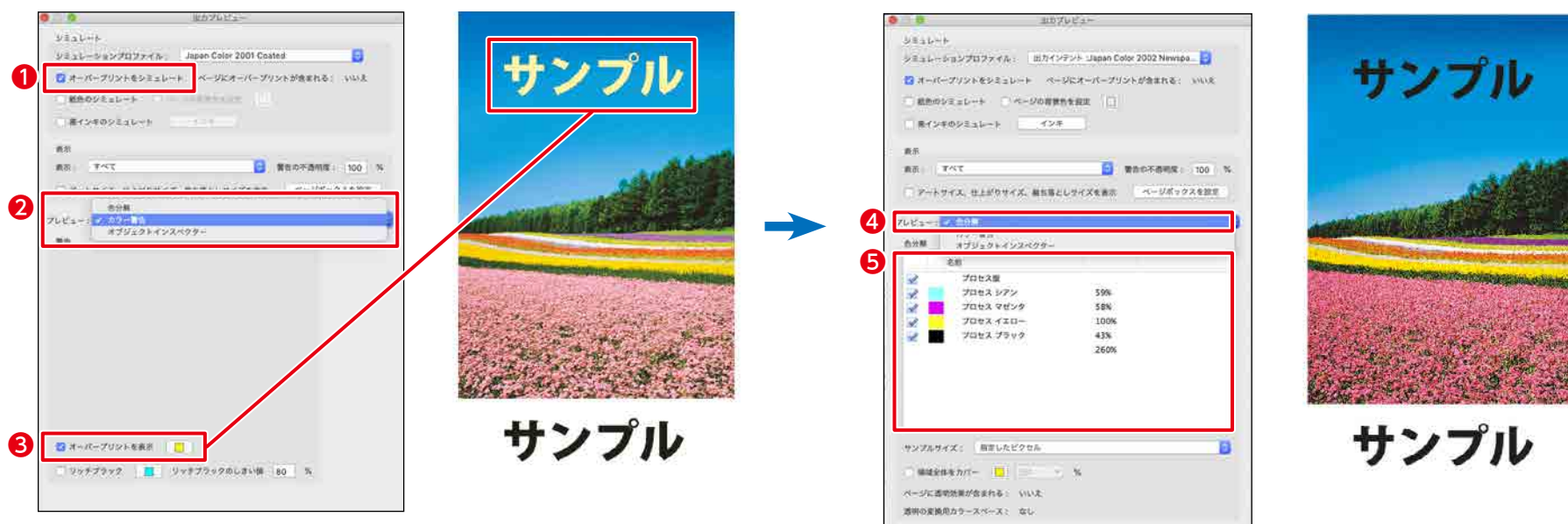


サンプル

• オーバープリントの確認方法

1. ツールから[印刷工程]の[出力プレビュー]を選択します。
2. [オーバープリントをシミュレート]にチェックをつけると、画面上でオーバープリントの確認をすることができます。〔1〕
3. [プレビュー]で[カラー警告]を選択します。〔2〕
4. [オーバープリントを表示]にチェックをつけると該当箇所が設定した色で表示されます。〔3〕
5. [プレビュー]で[色分解]を選択します。〔4〕
6. [色分解]パネルで各版を個別に確認します。〔5〕

※ [色分解]で単色原稿データの不要版チェックもできます。



送稿

オンライン送稿

北海道新聞への広告原稿入稿は「北海道新聞 広告 WEB オンラインサービス」を利用して頂きます。

このサービスを利用すると原稿の入稿結果などを確認することができます。

「北海道新聞 広告WEB オンラインサービス」のご利用は事前のお申し込みとインターネットが使用できるパソコンのご用意が必要となります。詳細は北海道新聞社営業局管理制作本部またはお近くの北海道新聞各支社の営業部までお問い合わせください。



在版

広告原稿の在版期間は掲載後3カ月間となっています。

ウイルスチェック

入稿の前には必ずウイルスチェックを行ってください。



チェックシート

☐ 制作アプリケーションのバージョンは確認しましたか？
..... (P5 制作アプリケーション)

☐ データサイズは400MB以下になっていますか？
..... (P5 データサイズ)

☐ フォントのアウトライン化を行いましたか？
..... (P5 フォント)

☐ 色指定を正しく設定していますか？
..... (P8 カラー (Illustrator))

☐ 画像の解像度は正しい設定になっていますか？
..... (P9 解像度)

☐ 不要なオブジェクトは残っていませんか？
..... (P10 出力トラブルの回避)

☐ 複雑なパスや効果のラスタライズ処理を行いましたか？
..... (P11 複雑なパスや効果の注意)

☐ アートボードを正しいサイズで作成していますか？
..... (P14 アートボードサイズ)

☐ 配置画像の埋め込み処理を行いましたか？
..... (P20 画像の埋め込み)

☐ PDF は規定の [N-PDF] で書き出していますか？
..... (P22 PDF の作成)

☐ プリフライトチェックを行いましたか？
..... (P23 プリフライトチェック)

☐ TAC 値は250%以下になっていますか？
..... (P26 総インキ量 (TAC 値) の確認方法)

☐ ウイルスチェックを行いましたか？
..... (P28 ウイルスチェック)

【参考資料】

- ・「新聞広告デジタル制作・送稿ガイド」一般社団法人日本広告業協会
<https://www.jaaa.ne.jp/?p=6650>
- ・「新聞広告データアーカイブ」一般社団法人日本新聞協会
<https://www.pressnet.or.jp/adarc/>
- ・「新聞広告のカラーユニバーサルデザイン」北海道新聞社営業局
<https://adv.hokkaido-np.co.jp/etc/cud.pdf>

■本ガイドに記載されているバージョン等の情報は 2021 年 4 月 1 日時点のものです。

■本ガイドに記載されているリンク先のアドレスは、予告なく変更される場合があります。

■本ガイドの仕様は、予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

●商標・登録商標

Apple、Macintosh、MacOS は、Apple 社の商標で米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、Adobe Acrobat Reader、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop、Adobe InDesign および Postscript は、Adobe System Incorporated（アドビ System 社）の米国ならびにほかの国における商標または登録商標です。

その他記載されているブランド名、製品名は、それぞれ各社の商標、登録商標、商品名です。

『MINDS デジタル原稿制作の手引き』は、
北海道新聞社営業局ホームページで
ダウンロードすることができます。

<https://adv.hokkaido-np.co.jp>

HOME ▶ 入稿ガイド ▶ MINDS デジタル原稿制作の手引き

■ 発行 ■

(株)北海道新聞社 営業局

TEL : 011-210-5374

E-mail:advertise@hokkaido-np.co.jp

■ 制作 ■

(株)道新プロセス

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
なるべく全ての色覚の方に情報を伝えられるよう CUD（カラーユニバーサルデザイン）に配慮しています。



